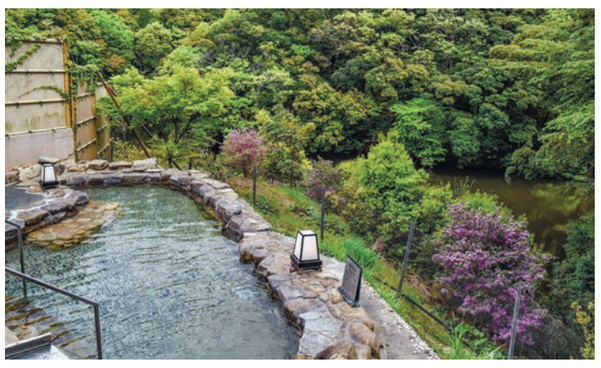
お湯の魅力でお客さま満足度アップ

全国の「風呂じまんの宿」37軒を紹介

この特集は本社ウェブサイト「観光経済ドットコム」でもご覧いただけます

施設、料理、サービスは旅館・ホテルを構成する三大要素だが、日本の宿の魅力は何といっても「温泉」「浴場」だ。ここでは湯と設備の魅力で集客に実績をあげている「風呂じまんの宿」37軒を紹介する。（この特集は、本社ウェブサイト「観光経済ドットコム」、SNS「観光経済新聞フェイスブック公式ページ」「観光経済新聞ツイッター公式アカウント」との連動企画です。ウェブサイト、SNS上では1日1宿ずつご紹介していきます）

特集　10～14面



北海道・登別温泉

第一滝本館

5泉質の湯めぐりできる

温泉の泉質には10種類があるが、その半分の5泉質の湯めぐりができるのが、北海道・登別温泉の第一滝本館（南智子社長）だ。「温泉のデパート」と称される登別温泉では9泉質が湧き出る。支配人の草替一彦氏は「当館だけで登別温泉の多くの湯をお楽しみいただけます」と胸を張る。

硫黄泉は、強酸性のため殺菌力が強く、含まれる硫黄分は皮膚疾患に効果がある。芒硝泉は、「きずの湯」とも呼ばれ、肌のカサつきなどに効く。ほか、酸性緑ばん泉、食塩泉、重曹泉を保有する。

同館のホームページでは、各泉質の特徴を紹介するとともに温泉分析書も開示して、優れた泉質をアピールしている。

地獄谷を眺められる大浴場は、男女合わせ1500坪を誇る。泉質も湯温も異なる35の湯船（男女合計）を備えており、「お好みに合わせてお選びいただけます」と草替氏。

一部を除き24時間入浴可能。いつでも入浴できるよう、湯守がその五感で源泉の変化を捉え、浴場に安定した湯を引き入れている。

▽北海道登別市登別温泉町55番地。☎0143（84）2111。https://takimotokan.co.jp/

手入れが行き届いた清潔な大浴場（男性用）

岩手県・鶯宿温泉

ホテル森の風　鶯宿

絶景の空中露天風呂

鶯宿温泉のホテル森の風鶯宿（阿部孝二社長）は、本格的なガーデニング庭園「フラワー&ガーデン森の風」に隣接する大型スパリゾートホテルだ。岩手山、雫石盆地を望む露天風呂を備えた大浴場があり、和風風呂、洋風風呂それぞれに、パノラマが自慢の空中露天風呂をはじめ、半露天ディーやオリジナルドリンクの無料サービスも行っている。

和風風呂は、空中露天風呂から岩手山、姫神山を一望でき、室内大浴場にはドライサウナもある。洋風風呂は、空中露天風呂から雫石盆地の景色を見渡せるほか、室内大浴場は欧州の宮殿をモチーフにした優美なデザイン。

客室数は計221室。このうち源泉掛け流しの露天風呂付き客室は、「四季彩」と貴賓室・特別室「嘉苑」に21室。四季彩には、露天風呂にリフターを付けたバリアフリー対応の客室もある。湯上りにはアイスキャンディーやオリジナルドリンクの無料サービスも行っている。

▽岩手県岩手郡雫石町鶯宿10の64の1。☎019（695）3333。http://www.morinokaze.com/

岩手山が一望できる空中露天風呂

岩手県・新鉛温泉

結びの宿　愛隣館

三つの源泉、17の湯船

岩手県新鉛温泉の「結びの宿　愛隣館」（清水隆太郎社長）は、花巻温泉郷の最も奥に位置する。自然に抱かれた温泉宿だ。三つの源泉からこんこんと湧き出る湯を、三つの大浴場の合計17の湯船で利用している。のれんの交換により、一晩の滞在で全てを体験できるのがうれしい。

2012年7月、ミキハウス子育て総研による「ウェルカムベビーのお宿」として東北で初認定された。大浴場や貸し切り風呂にはベビーバスやバスチェアなど幼児向けグッズが用意されており、幼児の温泉デビューに最適だ。

大浴場は「南部の湯」「森の湯」「川の湯」がある。

南部の湯には内湯、古代檜風呂、岩露天風呂、立って入浴する名物の立湯露天風呂が。森の湯は内湯、シルクバスと、源泉100%掛け流し設楽焼陶器風呂、立湯露天風呂がある。川の湯はオープンドアの内湯、深さ90センチの腰掛湯などがあり、入浴の楽しみが尽きない。

▽岩手県花巻市鉛字西鉛23番地。☎0198（25）2619。https://www.airinkan.com/

川の湯「内湯」

宮城県・南三陸温泉

南三陸ホテル観洋

眼前に広がる水平線

宮城県三陸海岸、志津川湾をのぞむ南三陸ホテル観洋（阿部泰浩社長）は広がる水平線を眼前に、温泉と露天風呂を楽しめる宿だ。特に、露天風呂からのぞむ朝日は格別。早起きするだけの価値はある。

広々とした四つの大浴場がある。男湯の「磯の湯」、女湯の「浜の湯」は東館2階にあり、大浴場、露天風呂、サウナそれぞれから海が見える。露天風呂は、女性側は洞窟をイメージ、男性側は緑と和の趣が融合した岩風呂。南館4階にも大浴場があり、充実した設備を誇る。

湯は地下2千㍍から湧き出る深層天然温泉だ。神経痛、筋肉痛、切り傷などに効くといわれる。

全国に魚を出荷する阿部長商店の経営だけに、新鮮な魚介類を存分に味わえる。同ホテルの女将・阿部憲子さんが提案した旬の食材を使った「南三陸キラキラ丼」は特に賞味したい逸品だ。

震災を風化させないための「語り部バス」も運行しており、多くの人から利用されている。

▽宮城県本吉郡南三陸町黒崎99の17。☎0226（46）2442。https://www.mkanyo.jp/

海とひとつにつながるインフィニティ温泉

山形県・あつみ温泉

たちばなや

創業368年、歴史ある温泉宿

山形県あつみ温泉のたちばなや（佐藤佐次右衛門社長）は、創業368年という古い歴史のある温泉宿。代々「佐次右衛門」の名跡を受け継ぎ、地域の温泉文化を守り続けてきた。情緒あふれる日本庭園、庄内の食材にこだわった会席料理、そして温泉と、多彩な楽しみ方がある。

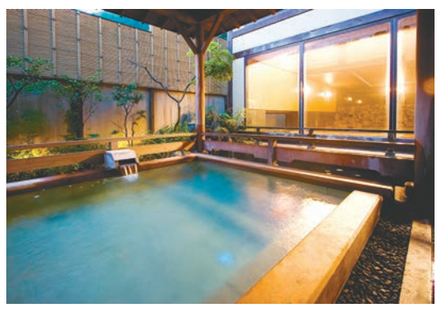
館内には大浴場、露天風呂、貸し切り展望露天風呂がそれぞれ二つずつ。

東館1階の大浴場「湯の里」は男性用、女性用ともに天井が高く、開放的な造り。浴槽には絶えず新鮮な湯が注がれ、湯あみを楽しむ人々の体を包み込んでくれる。

露天風呂は男性用が石造り、女性用がひのき造り。いずれも野趣にあふれ、里山の心地良い風に心が癒やされる。春には川岸に立つ桜の花びらが舞い込むというから風流だ。

貸し切り展望露天風呂は6階にある山側の「月の湯」と川側の「星の湯」。湯船に飲み物を浮かべ、満天の夜空を眺めながらプライベートな時間をゆっくり味わいたい。

▽山形県鶴岡市湯温海丁3。☎0235（43）2211。http://www.tachibanaya.jp/


女性大浴場の露天風呂

福島県・土湯温泉

風望天流　太子の湯　山水荘

滝を眺める展望大浴場

福島県土湯温泉の「山水荘」（渡辺和裕社長）は、勇壮な二段の滝を眺める「太子の湯」や展望大浴場、5カ所の貸し切り風呂と、温泉三昧を楽しめる宿だ。

展望大浴場「瀧の湯」からは荒川と、それを取り巻く雄大な景色を大パノラマで眺める。もう一つの展望大浴場「淵の湯」は旅館では珍しい2階建ての造りで、浅湯、深湯などさまざまな湯巡りを楽しめる。

当地ゆかりの聖徳太子の名を冠した露天風呂、太子の湯は山水荘の象徴的な存在だ。荒川の二段の滝が圧倒的な水量で流れ落ちる様子を間近に眺める。開放感に浸れる源泉掛け流しの露天風呂を堪能したい。今では珍しい男女混浴制をとっているが、女性専用の時間（午後7～11時）も設けている。

カップルや家族連れにお勧めなのが貸し切り風呂だ。半露天の「石の湯」「樽の湯」、内湯の「かわせみ」「おしどり」、そして露天の「星天の湯」があり、60分で1080円（税込み）と手頃な料金で利用できる。

▽福島県福島市土湯温泉町字油畑55。☎024（595）2141。http://www.sansuiso.jp/

展望大浴場「瀧の湯」